

◆日本ポストプロダクション協会：JPPA AWARDS 2018 開催へ

一般社団法人日本ポストプロダクション協会（以下JPPA）は第22回開催となるJPPA AWARDSに伴う審査対象の作品を募集する。映像技術部門（一般の部）のカテゴリーの見直しを図り、「作品のジャンルによって区分」していた映像技術部門におけるカテゴリーを、「職種によって区分」するように変更した。

募集要項（一般の部）

- 募集期間 2018年1月5日～2018年2月2日
- 募集対象 2017年1月1日～2018年1月31日までに制作、発表された作品
- 対象技術 ポストプロダクション映像技術、ポストプロダクション音響技術
- 応募資格 ポストプロダクション業務従事社（JPPA会員及び会員以外）
- 募集部門 映像技術部門
 - エディティング（ジャンル：広告、テレビ、その他）
 - コンポジット/VFX（ジャンル：広告、テレビ、その他）
 - グレーディング（ジャンル：共通）
 - テロップデザイン（ジャンル：共通）
- 音響技術部門
 - ミキシング（ジャンル：広告、テレビ、その他）
 - サウンドデザイン（ジャンル：広告、テレビ、その他）

募集要項（学生の部）

- 募集期間 2018年1月15日～2018年3月2日
- 募集対象 2017年3月1日～2018年2月28日までに制作、発表された作品
- 対象技術 ポストプロダクション映像技術、ポストプロダクション音響技術
- 応募資格 大学、専門学校、高等学校に在学中または募集対象期間内に在学していた学生。（在学しているあるいは在籍した学校の教職員から、連絡が可能な個人又はグループ）
- 応募条件 作品のジャンルを問わず、公序良俗に反しない作品で、第三者の著作権・肖像権を侵害していないもの。
- 募集部門 映像技術部門
 - ジャンル：ドラマ、ドキュメンタリー・その他、CG・アニメーション）
- 音響技術部門
 - ジャンル：ドラマ、ドキュメンタリー・その他、CG・アニメーション）

審査はいずれの部も1次審査・最終選考を行う。審査期間は2018年3月～5月初旬。入賞作品発表は一般の部が4月中旬以降、学生の部が5月中旬以降にJPPAホームページにて行われる。

応募詳細はJPPAホームページを参照のこと。

【問い合わせ先】

一般社団法人日本ポストプロダクション協会
<http://www.jpapanet.or.jp>

◆日本オーディオ協会：平成29年度「音の日」記念行事を開催

日本オーディオ協会は、12月6日ホテル雅叙園東京にて「音の日」記念行事を開催した。創立65周年を迎えた今年にはオーディオ協会賞の表彰式が行われ、恒例の「音の匠」顕彰式・特別講演会、「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」、第24回日本プロ音楽録音賞の授賞式、「音の日」のつどいでは来賓、受賞者、会員、各団体関係者など多くが参加した。



日本オーディオ協会賞 授賞式では技術進化の早い電子機器において、5年毎にオーディオ技術の開発、及び実用化に大いに貢献した個人、または組織の顕彰を行うもので今回は合計8つの組織を顕彰した。

技術部門

1. ハイレゾ・オーディオの提唱と推進
 - ・ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社
2. 「ハイレゾストリーミングサービスPrimeSeat」の開発及び運営
 - ・株式会社インターネットイニシアティブ
 - ・株式会社コルグ
 - ・有限会社サイデラ・パラディソ
 - ・ソニー株式会社

経営戦略関係部門

1. ブランド復活と市場活性化の推進
 - ・パナソニック株式会社 アプライアンス社
 - ホームエンターテインメント事業部
2. CIとブランド戦略による市場活性化
 - ・株式会社JVCケンウッド
3. ブランド戦略による組織を超えた事業強化
 - ・三菱電機株式会社

日本オーディオ協会65周年記念講演ではこれまでにCBS/ソニー・レコード（現 ソニー・ミュージック）や日本放送協会（NHK）のハウスエンジニアを歴任（現在フリーランス）した深田晃氏を迎えて「CD前夜からハイレゾまでの録音制作」と題した記念講演が行われた。

【問い合わせ先】

一般社団法人日本オーディオ協会
<https://www.jas-audio.or.jp>

◆JVCケンウッド：業務用D・ILA プロジェクター「DLA-VS4810」「DLA-VS4010」を発売

株式会社JVCケンウッドは、JVCブランドより、業務用プロジェ

クターの新商品として、D-ILA プロジェクター「DLA-VS4810」「DLA-VS4010」の2モデルを12月中旬より発売した。両モデルは、独自技術である「D-ILA」デバイス



に加え、レーザー光源技術「BLU-Escent」(ブルーエシセント)を搭載し、「D-ILA」ならではの高精細・高コントラストとレーザー光源技術による高輝度かつ長寿命を実現。高解像で臨場感ある映像表現と低ランニングコストを両立したプロジェクターとして、業務用途向けに提案していく。

上位モデルの「DLA-VS4810」は、「8K/e-shift テクノロジー」の搭載により4Kの約4倍となる8K解像度表示に対応し、さらなる大画面・高精細な映像表示ニーズに応える。当社はこれまで、業務用プロジェクターとして、独自開発の1.27型「D-ILA」デバイスを搭載した8K/4K対応のプロジェクターを市場投入し、高コントラスト比と高精細映像表示により、高い評価を得ており、プラネタリムやパブリックビューイング、航空機シミュレーションなどの用途で多くの導入実績がある。さらに、2017年6月から発売した「DLA-VS4500」では、レーザー光源技術「BLU-Escent」(ブルーエシセント)を搭載。高精細かつ動きに強い映像表現力と、長時間使用における高信頼性の両立を実現した。

このたび発売する「DLA-VS4810」「DLA-VS4010」は、このレーザー光源技術「BLU-Escent」(ブルーエシセント)を搭載したモデルの新ラインアップ。これまでの高圧水銀ランプモデルと比較し、高輝度を達成しつつ、長時間使用における低ランニングコストを実現する。また輝度センサーで自動的に明るさを一定に保つ「輝度一定モード」を搭載し、長時間使用での調光作業を軽減します。さらに、垂直水平レンズシフトに加え、縦置き、スタック設置にも対応。業務用途に求められる機能や使い勝手に配慮している。

当社は両モデルを、4K/8Kなどの高精細映像コンテンツの投射装置として、より臨場感・没入感が求められるプラネタリムやシミュレーター、工業デザインなどの用途に提案していく。また、「8K/e-shift テクノロジー」を搭載した上位モデル「DLA-VS4810」は、当社初となる8K対応レーザー光源プロジェクターとなる。

【問い合わせ先】

株式会社JVCケンウッド
TEL:045-444-5310

◆カメラ映像機器工業会：CP+ 2018 開催へ

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)は、2018年3月1日(木)～4日(日)に総合的カメラ映像ショー、CP+(シーピープラス)2018をパシフィコ横浜および大さん橋ホールにて開催する。

CP+は国際都市・横浜に開催地を移して9年目、「日本カメラショー」時代から数えて50年を越える歴史を持つ、世界をリードする総合的カメラ映像ショー。今回は66,000人を超える動員を記録、23種のワールドプレミア(世界初発表製品)がここ日本から世界に向けて

発表された。新製品展示はもちろんのこと、今回は主に若い女性をターゲットにした新企画「Photo Weekend」や、大さん橋ホールで開催するコミュニティスペース「PHOTO HARBOUR」、その他さまざまな新企画で、ファミリーからプロの写真家まで、これまで以上に多くの参加者にフォトイメージングの楽しさ・素晴らしさを体感する4日間となる。

5つのトピックス

■新企画! Photo Weekend(フォト・ウィークエンド)

主に若い女性をターゲットにした土日限定の新企画「Photo Weekend」を初開催。ヨシダナギをはじめとする人気写真家やゲストを迎えたステージ、特別展示、ワークショップ、ビギナー向け講座など、さまざまな角度で自分らしいフォトライフを応援する。

■たいせつな写真を残そう!「CP+ 写真館 Fly High! By 安田菜津紀」

TVなどで活躍中のフォトジャーナリスト安田菜津紀さんを迎えて、ジャンプをテーマにした写真館企画を実施。

■パリをテーマにした企画がもりだくさん!

CP+にとって縁の深い「パリ」をテーマに、東大教授・今橋映子氏の「パリ写真の楽しみ方」セミナーをはじめ、カメラ博物館による「フランスカメラとレトロかわいいカメラ」展示、連携イベント「フォト・ヨコハマ」の企画として近隣のインターコンチネンタルホテルではマグナムフォトプロデュースの「マグナムが観たモノクロームのパリ」特別展示を行う。

■新しい写真集フェア「PhotobookJP」を開催!

CP+が大さん橋ホールで実施するフォトカルチャーを体感・発信するコミュニティスペース「PHOTO HARBOUR」。今回は新しいアジア最大級の写真集フェア「Photobook JP」を開催!国内外の出版社やディストリビューターが集まる。

■新進写真家をサポートするZOOMS JAPAN 受賞者発表!

CP+がパリの同種イベントと連携し、新進写真家の海外進出を応援するフォトアワード「ZOOMS JAPAN」の受賞者を発表。CP+会場内では展示とギャラリートークを実施。受賞者2人は来年11月のパリツアーにご招待する。

【問い合わせ先】

CP+ (シーピープラス)事務局
E-mail : press@cpplus.jp

◆ケンコープロフェッショナルイメージング：

撮影用LEDライト「HIVE WASP 100-C キット」販売開始

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージングは、HIVEで初のLEDライト「WASP 100-C キット」の販売を12月15日より開始した。

■特徴

100Wの消費電力でタングステンライト650W相当の出力をもつLEDライト。独自のパーフェクトS.H.O.Tコントロールシステムにより、サチュレーション(色飽和度)、色相、出力、色温度を調整でき、あら

ゆるシーンに対応したライティングが可能。このシステムは、赤、アンバー、ライム、シアン、サファイアの5つのLEDを組み合わせて色を作り出すため、従来の3つの色のLEDを組み合わせたタイプより、はるかに高い色品質と発色コントロール性能をもっている。

■発売 2017年12月15日

■価格・JANコード 178,000円(税別) 4961360031201

◆ケンコープロフェッショナルイメージング： 撮影機材/照明機材用バッテリー「FXLION」販売開始



撮影機材/照明機材用バッテリー「FXLION」製品の販売を12月15日より開始した。FXLIONのバッテリーは、過充電、過放電、過熱、過電流防止の対応がされた安全な設計が特徴。カメラ用のスタンダードなVマウントバッテリーから、照明機材に使用する26V仕様のバッテリー、SKYPOWER等に使用できる4個のバッテリーを装着して使用する出力アダプター&充電器、多機能ハイパワーリチウムイオンバッテリー、アクセサリなどをラインナップし、またUSBの出力を持った機種も数多く用意されている。

●Cool Blue リチウムイオンバッテリー

■特徴

側面の液晶モニターによる正確な充電、放電、出力表示機能を備えた14.8V出力のリチウムイオンバッテリー。Vマウントならびにゴールドマウントをラインナップ。容量は98Whから250Whまでの5タイプ。

●Cool Black リチウムイオンバッテリー

■特徴

5段階のLED出力表示をもつスタンダードな14.8V出力のリチウムイオンバッテリー。Vマウントならびにゴールドマウントをラインナップ。容量は98Whから250Whまでの5タイプ。

●角型バッテリー

■特徴

Red、ソニー、Blackmagic、ARRI Miniなどのシネマカメラに最適なコンパクトサイズのリチウムイオンバッテリー。LED出力表示は4段階。マウントはVマウント。

容量は98Wh、148Wh、198Whの3タイプ。

●UPSインテリジェントリチウムイオンバッテリー

●UPSインテリジェントリチウムイオンバッテリー

■特徴

カメラとVマウントバッテリーの間にこのBP-F100Uを入れることで、放電をコントロール。Vマウントバッテリーの容量がなくなるとこのBP-100Uから電源供給し、撮影を止めることなく、バッテリー交換が可能。新たなバッテリーと交換すると再度そちらから電源を供給するように切り替えます。

●ハイパワーリチウムイオンバッテリー

■特徴

高出力、大容量のリチウムイオンバッテリー。最大15Aの消費電流。LED出力表示は5段階。マウントはVマウントとゴールドマウント。容量は195Whと265Whの2タイプ。

●26Vリチウムイオンバッテリー

■特徴

24-30V対応のカメラや照明機材に対応した、高出力、大容量のリチウムイオンバッテリー。通常10A、最大12Aの消費電流。LED出力表示は4段階。マウントはVマウント。容量は170Whと230Whの2タイプ。

●多機能ハイパワーリチウムイオンバッテリー

■特徴

映画用機材やライト向けのメガバッテリー。消費電流は40A。15Vと28Vの出力をもち、同時使用可能。容量は620Wh。

●Skypowerバッテリー出力用アダプター&充電器

■特徴

48Vもしくは24Vの出力が可能な電源供給アダプター。4つの14.8Vバッテリーを装着でき、大容量出力を実現している。48Vもしくは24V 1チャンネルと14.8V 2チャンネルを同時出力可能。また4つのバッテリーを同時に充電可能。

【問い合わせ先】

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング

TEL : 03-6840-3622

◆JBL PROFESSIONAL : LSR305-WH パワード・スタジオ オモニターを発売

LSR305-WHは、音像の再現と細部の描写に定評ある高品位パワード・スタジオオモニター「LSR305」のホワイトモデル。

どんな色合いのインテリアにも自然に溶け込むため、音楽制作はもちろん、リスニング用途としても活躍する。

LSR305-WHは、大型スタジオオモニターの最上位機種「M2」のために新たに開発した、イメージコントロールウェーブガイドを搭載している。音像の再現に優れ、スピーカーの外側に延びるほどの広いステレオ音場を再生する。中央の音像はこれまでになく明確になり、音場の奥行きや音像の大きさを的確に把握できる。細部の描写能力も高まり、高密度の



ミックスの中でも音源の微妙な変化や音場の空気感をエンジニアに伝える。リスニングポイントが広いと、スピーカーの軸外でも音質やバランスを正確に決定可能。ミキシングルームの音響特性やエンジニアのモニター位置に神経質にならずに、創造的な作業に集中できる。

LSR305-WH は、先進のスピーカー・コンポーネントを搭載し、最新の製作環境が要求する高密度のマルチチャンネル再生に対応。38mm 径ボイスコイルの低域ドライバーは、パワー・コンプレッション（実効感度の低下）が少なく、大音量を連続して再生しても音質の変化を最小限に抑える。低域ポートは、開口の両側にフレアを持つ JBL 独自の“スリップストリーム”設計。乱流を抑え、低域ドライバーと組み合わせると伸びと深みのある低域を出力する。ネオジウム磁石を使用した高域ドライバーはダンピング特性を最適化し、過渡特性と歪率が改善した。耳障りな小音量時の歪みが低減したため聞き疲れが少なく、長時間の製作作業も快適に行える。さらに、設置する部屋の形状や容積が異なっても正確なモニター性能を発揮するため、独自の LSR (Linear Spatial Reference) 設計を採用している。軸上はもちろん、スピーカーの周囲 360 度にわたり、直接音、反射音、残響音場に関する 72 もの測定を実施して、出力性能を最適化している。

LSR305-WH は 5 インチの低域ドライバーを搭載している。4 次リンクウィット・ライリーのアクティブクロスオーバーと高効率のクラス D パワーアンプを組み合わせたバイアンプ構成。余裕ある出力パワーで各ドライバーを駆動する。高域 (4.4kHz) と低域 (115Hz) のそれぞれにレベルを ± 2 dB 変更する TRIM スイッチを搭載し、設置環境や音源に応じて周波数特性を微調整できます。全体の音量レベルコントロールは 21 段のクリック付きで、設定の再現が容易。電子バランスの入力は感度を +4dBu と -10dBV で切り替えでき、XLR と標準フォーンジャック (3P) の入力端子を利用できる。各ドライバーには防磁対策を施し、磁界の漏れによる周囲の機材への影響を抑えている。

【問い合わせ先】

ヒビノ株式会社

TEL : 03-5783-3114

◆ブラックマジックデザイン：コロナビールの CM のダイナミックな編集に DaVinci Resolve Studio を使用

ブラックマジックデザインは編集、カラーグレーディングなど、コロナビール (Corona Extra) の CM のポストプロダクションに、DaVinci Resolve Studio 14 が使用されたことを発表した。同 CM はクリエイティブ・エージェント、Leo Burnett によりメキシコで作成され、撮影はフィリッポ・キエーザ (Filippo Chiesa) 撮影監督が担当した。

映画監督、レオナルド・ダレッサンドリ (Leonardo Dalessandri) 氏が請け負ったのは、彼のユニークな撮影技術とクリエイティブ・エージェントによるブランド戦略を融合させ、メキシコへ敬意を表す CM を作成することである。同氏はこれまでにコカコーラや Google、Apple などの CM を手がけている。

「Este Espiritu」と名付けられたこの CM の制作を契機に、ダレッサンドリ氏はすべてのポストプロダクション・ワークフローを DaVinci Resolve 14 へと移行した。

「それまでのワークフローはスピードが遅く、効率が悪かったのですが、変えることに抵抗があったんです。しかし、1 つのアプリでポストプロのすべての面をカバーできることはとても魅力的だと感じました。私は編集ワークフローでオフライン/オンラインの編集プロセスを用いないので、特に DaVinci Resolve 14 は私の希望するワークフローにぴったりはまったんです」とダレッサンドリ氏。

しかし、作業のスピードと効率だけを重視したわけではないという。「Resolve はスピーディなだけでなく、高品質かつ効率的な作業が可能なので、ポストプロで想像以上にクリエイティブな精密性を実現できます。」

2 週間以上かけて撮影したラッシュをより分けることで、編集ワークフローを 2 つに分けた。「最初のステップは、撮影した内容を確認することです。最初のショット選択を行った後、ストーリーの骨格を組み立てていきました。私は動的なエネルギーを感じる作品を好みますが、そのためには編集が非常に重要な役割を果たします。どのショットを使うかを定めることだけでなく、前後のショットとの流れが重要なんです。動きに一貫性がなければなりません。」

ダレッサンドリ氏は続ける。「Resolve での編集作業がこんなに楽しいものだとは思っていませんでした。例えば、クリップの管理が可能なので、すべてをコントロールできるような感覚になります。クリップを検索/ブラウズした後、スマートピンを使って特定のファイル属性やメタデータでグループ分けできる機能はとても効率的だと思います。」

同 CM の撮影は、様々な種類のカメラを使用してすべて 4K で撮影したとダレッサンドリ氏は説明する。「しかし、Resolve はどのようなコーデックやフォーマットにも対応可能でした。解像度に関わらず、Resolve は常に可能な限り効率的かつ最善の方法で作業できました。」

「DaVinci Resolve 14 は本当に優れたソフトウェアです。編集、グレーディングだけでなく、ショットのスタビライズなどの簡単なエフェクトまで、単一のソフトウェアで実現できるのです。Resolve を使った作業のスピード効率は計り知れませんが、画期的な製品だと思います。」ダレッサンドリ氏は最後こう結んだ。

◆ブラックマジックデザイン：DaVinci Resolve の新しいトレーニング&認定プログラムを発表

ブラックマジックデザインは DaVinci Resolve 14 の世界的なトレーニング、認定プログラム、および認定カリキュラムを発表した。

新しい「Definitive Guide to DaVinci Resolve 14」など、

Blackmagic Design のブックシリーズを購入することで、ユーザーは、プロ仕様の編集、カラーコレクション、Fairlight を使ったオーディオポストプロダクションを自分のペースで学べるようになった。

オンライン、あるいは認定トレーニングパートナーと直接会ってトレーニングコースを受講することも可能。

「Definitive Guide to DaVinci Resolve 14」は、

DaVinci Resolve 14 の基本的な編集、カラーコレクション、Fairlight オーディオをステップごとに解説した公式トレーニングガイド。新規ユーザー および、別の編集システムから DaVinci Resolve へ移行したプロたちの両方に向けたガイドになっている。今回の新版は、カラーコレクションの詳細や Fairlight オーディオに関するレッスンが追加され、一層充実した内容となっている。

「Definitive Guide to DaVinci Resolve 14」は、Amazon.com より、オンデマンド印刷/電子書籍の形で購入可能。ユーザーは同書を購入して自分のペースで学んだり、オンラインコースを受講したり、トレーニングセンターのクラスを訪れることができる。コースを修了時にオンラインテストを受けて、合格すると認定を受けられる。「Definitive Guide to DaVinci Resolve 14」は、英語版のみのリリースとなっている。

「DaVinci Resolve 14 は、世界で最も急成長している NLE です。ユーザーの皆様が DaVinci Resolve に移行できるよう、新しいトレーニングプログラムを発表できてとても嬉しく思っています。」Blackmagic Design の CEO、グラント・ペティは語る。「DaVinci Resolve 14 は、業界を根本から変えるような新機能を搭載しており、非常にエキサイティングです。プロ仕様の編集、カラーコレクション、オーディオを単一のワークフローで実現できる初めてのソフトウェアであり、また 真のマルチユーザー・コラボレーションに対応した初めてのソフトウェアでもあります!」

Blackmagic Design 認定トレーニングは、よりクリエイティブかつ効率的にジョブをこなすために必要なスキルを学べる。100ヶ所以上のトレーニングパートナー拠点、世界中の 300 人以上の認定トレーナー、そしてガイドブックおよびオンラインリソースなど、急速に成長を続けるネットワークにより、誰もが DaVinci Resolve の認定ビデオエディター/カラリスト/サウンドエディターとなる道がサポートされている。

トレーニングおよび認定プログラムは、認定プロやコースの講師を目指す個人や、学生たちにカリキュラムを提供したいと考える団体の両方に向けてデザインされている。

認定ユーザーとなるためには、ユーザーは初心者コースを修了した上でオンラインの認定テストに合格する必要がある。テストの問題は、「Definitive Guide to DaVinci Resolve 14」の内容に基づいている。プログラムに参加を希望する講師/団体は、DaVinci Resolve トレーニングウェブページにある e メールリンクから Blackmagic Design にご連絡する必要がある。

【問い合わせ先】

ブラックマジックデザイン

<https://www.blackmagicdesign.com/jp>

◆ティアック：ドイツ Sennheiser 社とパートナーシップ締結。VR コンテンツの音声収録に最適なアンビソニックスマイクに対応した『DR-701D』新ファームウェア Ver2.00 公開

ティアック株式会社は、独Sennheiser 社とパートナーシップを締

結し、Ambeo VR mic などのアンビソニック音声収録に対応した『DR-701D』の新ファームウェア V2.00 を 12 月 21 日より無料ダウンロードを開始した。

映像撮影に特化したマルチチャンネルオーディオレコーダー『DR-701D』が新しいファームウェア V2.00 により、Sennheiser Ambeo VR mic をはじめとしたアンビソニックマイクの収録に対応した。従来の機能に追加して、A format / B format での収録や、ステレオミックスでの B format 信号のモニターが可能となった。堅牢ながらコンパクトな筐体で、VR コンテンツの音声収録を支える。

「我々ゼンハイザーは、ティアック株式会社が AMBEO VR パートナーシッププログラムに参画されることを心より歓迎いたします。また、世界各地のコンテンツクリエイターから高い評価を得ている TASCAM DR-701D を、パートナーとして迎えられることを誇りに思います。その DR-701D の最新ファームウェアにより、AMBEO VR マイクでの A/B Format のアンビソニック録音に完全に対応いたしました。」(ゼンハイザー株式会社 AMBEO Immersive Audio Co-Director Véronique Larcher)

「映像制作の現場においても、多くのユーザーの皆様にご支持頂いております DR-701D が、この度新たにアンビソニック音声の収録に対応致しました。長年、放送局や録音スタジオなど、プロの現場の収録を支えてきた TASCAM が、Sennheiser AMBEO とのパートナーシップを通して、目覚ましい成長を続ける VR コンテンツ制作の現場に、より便利なソリューションを提供できますことを大変誇りに思います。」(ティアック株式会社代表取締役社長 CEO 英 裕治)

【V2.00 の主な機能】

- ・アンビソニックマイク収録モードを追加
- ・ファントム電源供給が可能な4つの XLR 入力端子を搭載
- ・A format もしくは B format での収録が可能
- ・B format の信号をリアルタイムでステレオ変換し、ヘッドホン出力とライン出力でのインプットモニター、ファイル再生に対応。
- ・B format は Ambix, FUMA の各ファイルフォーマットを選択可能
- ・全入力のトリムを一括して操作可能な GANG 動作モード
- ・アンビソニックスマイクの様々な設置に柔軟に対応可能なマイクポジション選択機能
- ・A format もしくは B format での 4ch 分の収録に加え、同時にステレオミックスの収録が可能

◆ティアック：TASCAM CF カードに 64GB が新登場

ティアック株式会社は、CF カードの 64GB モデル『CF-64HSRM』を 2018 年 1 月中旬より販売開始する。価格はオープンプライス。

【主な特長】

- ・ TASCAM 製品で動作確認済み CF カード
- ・ TASCAM 独自のメディア評価によりランダムアクセスに強いコントロール IC を選定
- ・ メディアメーカーとの連携により、使用パーツを固定することで高い安定性を実現
- ・ 容量 64GB、録音時間:58 時間 40 分 @48kHz/24bit、ステレオ収録時
- ・ フォーマット済の CF カードを出荷(個別不良流出の抑止)
- ・ CF カード不良時の解析に対応
- ・ 保管に便利な専用ケース、インデックスシート付属

【仕様】

フラッシュタイプ	: MLC
容量	: 64GB
動作電圧	: DC3.3V またはDC5.0V
インターフェース	シーケンシャルリード(最大) :130MB/sec
シーケンシャルライト(最大)	:120MB/sec
消費電力(最大)	:340mA
消費電力(待機)	:0.3mA
外形寸法(WxHxD)	:42.8x36.4x3.3mm
質量	:10g
MTBF/ 平均故障時間(est)	≒ 1,000,000 時間
動作温度範囲	0° C ~ +70° C
保証温度範囲	: -55° C ~ +95° C

【問い合わせ先】

ティアック株式会社
TEL : 042-356-9131

◆CES 2018 : 基調講演に A&E、YouTube などの ストリーミング、コンテンツ業界のトップリーダーが登場



Consumer Technology Association(CTATM: 全米民生技術協会)は、C スペースにて開催する基調講演の登壇者を発表した。

A&E Networks CEO の Nancy Dubuc 氏、Comcast Cable 宣伝担当社長の Marcien Jenckes 氏、Discovery Communications CEO の David Zaslav 氏、LionTree LLC CEO の Aryeh Bourkoff 氏、PepsiCo グローバルブランド開発担当上級副社長の Kristin Patrick 氏、MediaLink 会長兼 CEO の Michael E. Kassin 氏と副会長の Wenda Harris Millard 氏、および YouTube 最高業務

責任者の Robert Kyncl 氏が登場する。

MediaLink が提供するこの基調講演では、コンテンツ配信ビジネスがメディア、マーケティング、広告、およびエンターテインメント業界の状況をどのように変化させているかについて探っていく。この基調講演は、2018 年 1 月 10 日(水) 午前 11 時 30 分から、新しいCES の基調講演会場であるモンテカルロのパークシアターで行われる。

CTA の CES およびコーポレートビジネス戦略担当上級バイスプレジデントであるカレン・チュプカ(Karen Chupka) は次のように述べている。

「消費者の視聴習慣を理解し、充実したコンテンツを提供しているストリーミングおよびコンテンツ業界の最強プレイヤーたちが、基調講演のステージで深い知見を披露してくれることに大変嬉しく思います。消費者はタイムシフトされたコンテンツを日常的に視聴しており、マーケターやエンターテインメント業界にとって、いつでもどこでもビデオコンテンツにアクセスできるという消費者の需要に対応してビジネスの形を変えて行くことが重要です」

CES の C スペースは、世界のイノベータ、マーケター、クリエイティブが集まり、ディスラプティブなトレンドと、テクノロジーを通じたブランドマーケティングおよびエンターテインメントの将来に関する展示を行う。MediaLink は、メディア、マーケティング、広告、テクノロジー、エンターテインメント、および金融関連企業を対象とする、最大手の戦略的コンサルティング企業。

CES 2018 は、2018 年 1 月 9 日から 12 日までネバダ州ラスベガスで開催される。

【問い合わせ先】

株式会社井之上パブリックリレーションズ
TEL : 03-5269-2301

◆キャノン : EOS C700、EOS 700 GS PL ファームウェア 公開

キャノンはEOS C700、EOS 700 GS PL ファームウェアを公開した。

■対象機種 / Version

- EOS C700 / Version 1.0.4.1.00
- EOS C700GSPL / Version 1.0.2.1.00
- *EOS C700 のみ

■ファームウェア変更内容

▼EOS C700 / EOS C700 GS PL

1. HDR の国際規格ITU-R BT.2100 に準拠した Hybrid Log Gamma 方式の出力を可能にした。
2. Blackmagic Design 社のDaVinci Resolve で作成した 3D LUT(.cube 形式) を取り込んで、出力に適用することを可能にした。
3. Super16mm サイズ(2K crop) の記録モードを追加した。
4. B4 マウントアダプター「MO-4E/P」(別売り) 装着時、各種記録モードを選択可能にした。

6. ホワイトバランス設定画面で、色温度ステップを変更可能にした。
 7. スキャンリバーズ記録時、映像と音声はずれてしまう場合がある現象を修正しました。
 - *8. 周辺光量補正／倍率色収差補正の対応レンズを追加した。
 - EF レンズ
 - 「EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM」、
 - 「EF-S35mm F2.8 マクロ IS STM」、
 - 「EF-85mm F1.4L IS USM」
- *EOS C700 のみ

【問い合わせ先】

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
TEL : 03-3740-3304

◆ソニー：グラミー賞にノミネートされたシンガーソングライターのカリードとコラボレーション バーチャルリアリティ技術を活用した新しい音楽体験を提供

ソニーは、最新の技術を活用して音楽ファンに新しい体験を届けるブランドプロモーション “Lost in Music” (ロスト・イン・ミュージック)の第二弾を開始する。本プロモーション活動では、先日発表された第60回グラミー賞ノミネーションで、主要部門である＜最優秀新人賞＞含む計5部門にノミネートされたシンガーソングライターのカリードとコラボレーションし、音楽のライブイベントおよび、バーチャルリアリティ (VR)技術を活用したミュージックビデオによる新しい音楽体験を提供する。

“Lost in Music” 第二弾は来年1月19日に米国カリフォルニア州ロサンゼルス市のLA Hangar で開催されるカリードのライブイベントを皮切りに開始される。

今回の “Lost in Music” イベントでは、あたかも音像 (感覚上の音源)が飛び出てくるような体験をもたらすソニー独自の空間音響技術と音楽を掛け合わせ、これまでにない没入感ある音楽体験を提供する。会場に入ると、ソニーの波面合成技術により制御された計576個のスピーカーが作り出すトンネル状の「音響回廊 “Odyssey” (オデッセイ)」で、あらゆる方向に移動する音に包まれる。「音響回廊 “Odyssey”」を抜けると、夢の中の世界を表現したライブ会場「Dreamscape (ドリームスケープ)」に到着し、カリード他、スペシャルゲストのライブイベントを楽しむことができる。

なお、同イベントは米国テキサス州オースティンで開かれる世界最大のクリエイティブ・ビジネス・フェスティバル「SXSW (サウスバイサウスウエスト)2018」においても、3月15、16日に体験できる。

2月には、米国ニューヨークで、“Lost in Music”のミュージックビデオシリーズのローンチイベントを開催する。

また、カリードの新しいVRミュージックビデオが「SXSW 2018」にて、3月15日にお披露目となる。本作品はソニー・インタラクティブエンタテインメントのVRプロジェクションマッピング技術を活用し、360度全方位で立体的な映像を映し出し、視聴者はVRの世界で、カリードの音楽にまったく新しい形で浸ることができる。

界で、カリードの音楽にまったく新しい形で浸ることができる。

ミュージックビデオは2018年春より「プレイステーションストア」で提供され、「プレイステーション4」専用VRシステム「プレイステーション ヴィーアール」で体験できる予定。

ソニー株式会社 UX 事業開発、ブランド戦略担当 VP 富田みどりのコメント

「第60回グラミー賞にノミネートされたカリードと “Lost in Music” で協力ができることを嬉しく思います。本ブランドプロモーションでは、ソニーならではの技術と音楽を融合させて、ユニークな体験をお届けすることを目指しています。第二弾となる今回は、ソニーの開発した空間音響技術とVRを活用し、参加者の皆さまがあっと驚くような新しい体験をお楽しみいただけたと思います。」

カリードのコメント

「ソニーのブランドプロモーション “Lost in Music” に携われることにわくわくしています。ロサンゼルスやオースティンでのイベントでは、没入感ある音楽体験を通して、これまでに経験したことのない形でファンと交流できるので、待ち遠しいです。VRを使ったミュージックビデオをお披露目できることも楽しみにしています。」

【問い合わせ先】

ソニー株式会社

Sony.Pressroom@sony.co.jp

◆JAVCOM : No.150 新春セミナーを開催

NPO 法人 日本ビデオコミュニケーション協会(JAVCOM) は2018年1月30日に青学会館アイビーホールにて新春セミナー「2018年我が業界はいま…」とともに新年賀詞交歓会を開く。

「JAVCOMの真骨頂! ? 異業種業界からの提言!!」のテーマがあるセミナー内容は

1、 題目『ライブ配信をアメリカでやってきました』

講師：株式会社ナイス・デー 代表取締役 西村敬喜 氏

2、 題目『快適な環境を～防音・防護から防臭へ～』

講師：環境スペース株式会社 営業統括本部長 小野口智也 氏

3、 題目『UX/UIデザインの隆盛!』

講師：フェノメナエンターテインメント株式会社 代表取締役 植松清 氏

セミナーは16:00 開始で賀詞交歓会は18:00 から行われる予定。

【問い合わせ先】

NPO 法人 日本ビデオコミュニケーション協会

TEL : 03-3234-5994

◆一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) は、新 4K8K 衛星放送開始 1 年前セレモニーを開催した。

「2018年12月1日から「新4K8K衛星放送」が各認定放送事業者により開始される。放送に向けた諸準備は着々と進んでおり、今後は周知広報の拡充に向けて一段とギアを上げてまいります。」と発表した。

一年前に当たる2017年12月1日に「新4K8K衛星放送開始1年前セレモニー」を開催された。セレモニーは、ホテルニューオータニ(東京都千代田区)にて野田聖子総務大臣、上田良一NHK会長、井上弘民放連会長、長榮周作JEITA会長、福田俊夫A-PAB理事長



出席の基、4K8K 推進キャラクターが発表され、女優 深田恭子さんが任命された。また、「新4K8K衛星放送」ロゴの紹介、4K8Kに関する電話問い合わせ体制の確立、右旋(2KBS放送)再編計画の概要などがスライドにより紹介された。



4K8K 推進キャラクターに任命された、女優 深田恭子さんと野田聖子総務大臣。

(1)新たな放送のサービス呼称・ロゴ

	BS	110度CS	124/128度CS	ケーブル
2K	BSデジタル	110度CSデジタル	124/128度CSデジタル	各社毎
4K	『新4K8K衛星放送』		スカパー!4K (映画、総合、体験)	ケーブル4K
8K			-	-

②ロゴについて
■「新4K8K衛星放送」の「総合ロゴ」とする



(2)4K8Kに関する電話問い合わせ体制を確立

<「新4K8K衛星放送コールセンター」を12月1日にスタート>

新たな4K・8K放送に関する「正しい知識」や「受信のための技術問合せ」などに対応するため、“お問合せ窓口”を設置

■問合せ内容により、電話番号の周知にも工夫

☆帯域再編関連 → **フリーダイヤル 0120-480-004**

☆受信方法や漏洩対策など → **ナビダイヤル 0570-048-001**

■平日9時～17時 (年末年始、土日祝日はお休み)

(3)右旋(2K・BS放送)再編計画の概要

- BS右旋で6chの新4K放送を実現するには、現在の試験放送のトラポン(衛星中継器)に加えて、もう1トラポンの確保が必要。そのため、2K・BS放送の一部のチャンネルを再編(帯域削減・トラポン移動)する。
- 実際の必要期間は約5ヶ月(1月初め～6月上旬まで)

2018年1月初めから3週間で終了



2018年4月半ば～6月上旬

- 一部の2K・BS放送局で、予約録画でトラブルの懸念があるが、今後、番組やA-PABホームページ等により周知を図る

2

(4) 今後1年間の主な「周知広報」「普及推進」アクションプラン

■A-PABが主体的に取り組む「周知広報」計画

①パブリックスペースなどを活用して4K・8Kの魅力进行デモ展開

- ・集客力あるイベントに連動して「試験放送」「番組風コンテンツ」を訴求
- ・※(全国20ヵ所程度を想定)
- ・関係する展示会などにも出展継続
- ・「デモ展示用パッケージ」を用意して全国対応
(4Kモニター+新4K対応チューナー+番組風コンテンツ+受信環境+展示パネル)

②販売の第一線に、リーフレット、ポスター、共通POPなどを提供して、広く一般ユーザーへ周知

- ・「リーフレット」「ポスター」
「12月1日最新版」を配布し、今後もメンテナンス継続
- ・「共通POP」
現在の4Kテレビでは、新対応チューナー追加により「新4K8K衛星放送」視聴可能になることを記載した共通POPを配布し、広く視聴者にも訴求



3

■A-PABが主体的に取り組む「周知広報」計画

※左旋での適切な「受信環境の普及」を多面的に推進

テーマ	課題	対応策
①受信インフラの再構築	受信インフラ(アンテナ、増幅器、分岐・分配器、壁面端子など)の3224Mhz対応<再構築>が必要	<ul style="list-style-type: none"> ■電気店、電気工事店などへの再構築必要性の周知 ■JEITA制定の「SHマーク」の周知とその認定機器利用の促進
②通信・機器との干渉(漏洩)	既存の受信システムに左旋信号を送ると、ブースター等から電波が漏れ、また、壁面端子等に妨害が入り込む等、他の通信や機器との干渉が発生	<ul style="list-style-type: none"> ■電気店、電気工事店、CATV施工業者などに干渉(漏洩)対策の周知 ■一般視聴者が自ら施工することも想定し、干渉(漏洩)発生の可能性の周知やコールセンターの設置
③集合住宅への導入	分譲マンション等の受信インフラの改修・導入には管理組合での議決に長い時間が必要	<ul style="list-style-type: none"> ■マンション管理業団体等の研修会やセミナーを通じて、管理組合に対し、長期に亘る周知と理解促進 ■新築マンションや賃貸住宅への周知広報を拡大

<今年度全国300ヵ所で工事業業者向け『技術講習会』を実施>

- ・4K・8Kの受信、電波漏洩メカニズム、漏洩基準、対策手法等を詳しく解説
- ・2018年4月1日より、無線設備規則の改正で漏洩機器の使用などが禁止



4